

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ミニオンヌアリス		公表日		令和7年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			・個別的な支援に、より力を入れる為に職員の増員は必要であると考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・活動によって部屋を分けて実施したり、子どもの特性や状態に応じた個別支援も行っています。	・今後も課題の内容や子どもの状態に合った環境を整え、支援していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・こまめに清掃、消毒、定時の換気を行い、清潔を保てるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・活動によって部屋を分けて実施したり、子どもの特性や状態に応じた個別支援も行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・日々のミーティングやケース会議等で意見交換ができています。 また、日頃からのコミュニケーションもしっかりと図れています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・法人内研修、外部研修には積極的に参加し、質の向上に努めています。	・専門職としての研修が少ないため、今後は力を入れていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・活動プログラムについては作業療法士の意見をもらいながら子供の特性や状態にあった内容をチームで検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・「運動」「学習」「製作」「感覚」などのカテゴリーで検討していくことで、プログラムが固定化しないよう工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性や状態に合わせて、作業療法士による個別支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援の前に必ずミーティングを行い、利用児の状態や内容、役割分担等についてチームで確認を行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援後も必ずミーティングにて支援内容の振り返りを行い、チームで意見交換、検討を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・子どもの様子や状態については個人台帳にそれぞれ記録しています。全体のプログラムや内容、反省点等を把握できるように業務日誌の記録も徹底しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健師や併行通園先の保育園、幼稚園、就学先の小学校と連絡会を行い、情報共有を行えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行通園先の保育園、幼稚園と連絡会を行い、子どもの状態や支援内容について情報共有を行えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学先の小学校との連絡会や移行支援シートを活用し、情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・地域の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所を対象に事業所連絡会を開催し、様々な研修を企画し、地域全体の質の向上に繋げられるように取り組んでいます。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修に積極的に参加したり、作業療法士より助言を受けています。また、やまびこ医療福祉センターより心理士、言語聴覚士を派遣していただき、助言・指導を受けて支援に繋げています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		・地域の会議に積極的に参加することで、地域としての取り組みや課題点について共通理解を図っています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・今後実施していくか検討中です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎や面談時、また連絡帳にて子どもの様子を伝えたり、家庭での様子や保護者の困り感等を把握し、助言しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子療育や心理士、作業療法士による個別相談を実施しています。	・ペアプロ有資格者が不在のため、他事業所と連携してペアプロを実施するなど保護者支援にも力を入れていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント(面談)にて子どもの状態や保護者のニーズを確認し、ニーズに基づいて支援計画を作成しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・子育ての悩みや相談には作業療法士や保育士が面談を行います。また、心理士による個別相談も実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子療育の後に茶話会を実施するなど、保護者交流の場を設けています。	・茶話会など保護者交流の場をもっと増やしていけるようにします。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・安心メールやLINEを活用し、連絡をしています。また、タイムズや広報誌にて情報を発信しています。	・Instagram等SNSを活用していきたいと考えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・マルシェや子ども食堂など実施可能か検討中です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・今後もしっかりと周知を図っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月の訓練を欠かさず行い、日頃から非常災害発生に備えています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・看護師、管理栄養士と連携を図りながら対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・毎月の訓練を欠かさず行い、日頃から非常災害発生に備えています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・リスク委員会にて事業所内で共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

※ 保育所等訪問支援は下記につづく

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	ミニョヌアリス（保育所等訪問支援）	公表日	年 月 日
------	-------------------	-----	-------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		特に教材などを使用しないことが多いが、目的ごとに必要な物品を準備しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		対象児童の状態像を十分把握している職員を配置し対応を行っています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		事業所内で結果や経過の報告を行っているが十分でない面もあります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			保護者等からいただいた意見や意向を把握し、支援や情報発信の改善につなげていきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に個別での面談を行う機会を設定しながら、個々の職員の意見や課題を抽出しています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	法人内で接遇や業務改善に係る内容の研修を行う他、感染症や虐待防止などの研修・訓練を継続的に行うことで職員の資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者のニーズや課題を引き出し、支援の改善に繋げられるよう半年ごとのアセスメントを行っています。また、必要に応じて面談の機会を設けながら児童の現状把握に努めています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援の目標と内容についての個別支援会議を行うことで、関係職員で計画内容の改善・共有を図っています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		<input type="radio"/>	計画作成に際しては児童や保護者の意向を中心に検討を行っていますが、訪問先施設の課題なども考慮しながら作成しています。	訪問先施設の担当者様と十分な協議ができていない面も少なからずあるため、連携を強化していきたいと考えています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成に関する会議当日に参加できない職員にも事前に意見を求め、会議の結果や計画の内容を共有できるようにしています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		当事業所を利用される児童の特性に合わせた画一的なアセスメントシートを使用し、個々の利用児の特性を考慮したアセスメントを行っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った必要な項目を適切に設定し、個々の利用児に合わせた具体的な支援内容も併せて設定しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成に関する会議当日に参加できない職員にも事前に意見を求め、会議の結果や計画の内容を共有できるようにしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		各児童の最近の様子や保護者の意向を整理し、当日の支援内容を改めて確認するようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後に振り返りや申し送りをし、各担当者を中心に発言しながら支援内容や情報の共有を行っています。記録を画面で残すことで不在の職員への伝達も確実にしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先施設の支援方針や環境を十分考慮した支援・助言となるよう配慮しています。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		日々の支援内容について情報を職員間で共有しながら記録を行っています。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		送迎時などを利用して日々の生活や支援の状況を把握するよう努めています。また、計画作成時に設定している目標期間を基に定期的なモニタリングを実施し、必要に応じた支援内容の見直しを行っています。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加しており、児童の特性を考慮しながら必要に応じて支援担当者や専門職員等も同席させてもらっています。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			保護者を通して関係機関との連携を行いつつ支援の充実・改善を図っていますが、十分でない面もあるため体制整備に努めています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者と確認を行いながら就学時の情報提供を行っています。		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			外部研修の機会を逃していることがあるのでより積極的に参加し、職員の資質の向上に努めていきます。	
関係機関や保護者との連携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		施設の代表者が主に参加しており、必要な協議内容などについて共有しています。		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者との面談やモニタリングの機会を通して情報の共有を図っています。		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレや家族参加型の研修は開催していませんが、今後実施できるよう検討していきます。		
	保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や改定時に面談してお伝えしています。	
		28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
		29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的なモニタリングや面談を行い、児童や保護者の状況やニーズを把握できるよう努めています。また、利用児の最善の利益に繋がる支援を提案しながら個別支援計画に反映し保護者の同意を得ています。	
		30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
		31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		困りごとや相談については常時受け付ける体制を取っています。相談に対しては職員間で共有・検討して情報の整理をし、考えに寄り添いながら問題解決に向かうことができるよう助言等を行っています。	
		32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はありません。保護者会等の開催は難しい状況が続いています。	今後は状況をみながら保護者同士の交流に繋がる活動等を検討していきたいと考えています。
		33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		困りごとや相談については常時受け付ける体制を整備し、相談等の内容に応じて適切な職員が担当するよう配慮しています。	
		34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に紙面による広報と併せてHPにも掲載していますが、情報の発信が十分でない面もあります。	
		35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者に個人情報取り扱いについて説明を行い、了承を得て同意書に署名・捺印をいただいています。また、写真や名前の掲載など個人が特定されるものに関してはその都度保護者に確認をいただいています。	個人情報の取り扱いについては職員への指導を継続的に実施していきます。
		36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様一人ひとりの特性に応じてわかりやすい言葉での説明や実物を掲示して説明を行っています。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○	訪問支援後も継続的に情報交換を行うようにしています。	訪問支援後の経過確認などを重視していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援や協議の内容について適切に保護者にお伝えし、今後の支援に繋げられるよう配慮しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者に個人情報取り扱いについて説明を行い、了承を得て同意書に署名・捺印をいただいています。また、写真や名前の掲載など個人が特定されるものに関してはその都度保護者に確認をいただいています。	個人情報の取り扱いについては職員への指導を継続的に実施していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		お互いに情報を提供しながら良い関係を築けていると考えています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定されており、必要に応じて修正を行いながら運営しています。緊急対応が必要な場合の訓練を関係機関と連携して実施しています。	保護者への周知を更に図れるよう必要なツールの活用等を検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は適正に策定し運営しています。施設内外の安全管理と確認を徹底しながら支援を行っています。	今後も安全管理に必要な研修や訓練を継続的に実施しながら支援を行います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについては事業所内の職員で共有し改善を図っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修に参加した職員を中心に事業所内での研修を行っています。	今後も虐待防止委員会を開催しながらチェックリストなどを活用し、職員一人ひとりが虐待に関する意識を高められるよう取り組んでいきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		基本的に身体拘束を行う場面はありません。身体拘束適正化に関するマニュアルを策定し、職員に周知しています。また、契約やアセスメント時等に必要な物品や装着品について適当な使用方法について聞き取りを行い支援に繋げています。	